



# どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

## 電線を地中化して電柱を撤去します

### 地元の声

- ・東北自動車にもつながる主要道路。災害時にも通れるようにしてほしい。(地元住民)
- ・狭い歩道の中に電柱があるため、歩きづらい。(地元住民)

#### 事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

#### 事業後

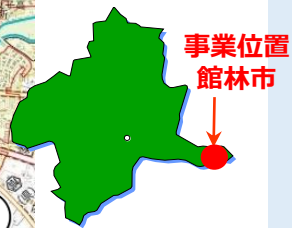
- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ (一例)

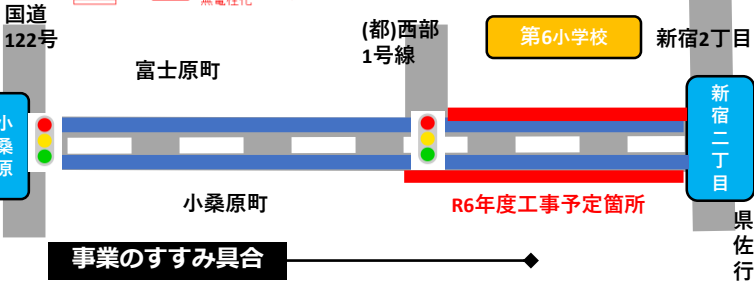
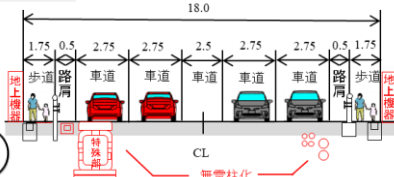
#### 事業の概要

- 事業箇所：館林市小桑原町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長 1,000m
- 事業期間：平成27年度～



## 事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

現道利用(車道と歩道の高さがフラットになる)

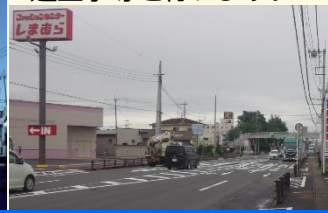


#### 今、何をしているか

令和6年度は、引込用管路等の敷設工事及び歩道工事等を行います。



現在の工事状況



R6工事予定箇所

事業開始 ●

● 事業完了